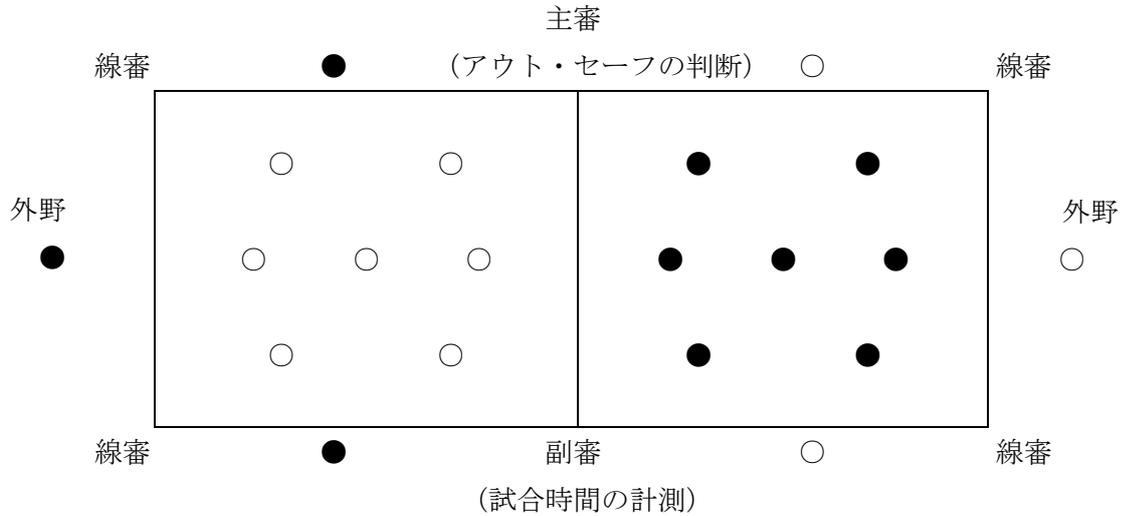


高鍋町子ども会親善レクリエーション大会 ドッジビー競技規則

1 コート及び用具

- (1) コートの広さは6人制バレーボールコートとする。低学年はミニバレーコートとする。
- (2) ディスクはドッジビー235とする。



2 競技方法

- ① 試合開始時のコート内は7名、外野は3名とする。ただし、1チーム10人未満でも出場可とする。
- ② 試合は、3セットマッチとし、2セット先取方式とする。時間は、1・2セットは5分、3セットは3分とする。時間経過時に同人数が残っている場合は、じゃんけんによりそのセットの勝敗を決定することとし、引き分けにはしない。セット間の休憩は設けない。
- ③ リーグ戦は1) 勝率、2) セット率 (総得セット数÷総失セット数)、3) 得失点率 (全試合の総得点÷全試合の総失点)、4) 同順位の場合は全員のじゃんけんで決める。
- ④ コート内にいる者がディスクを当てられたら外野に出る。ただし、1度外野に出てからは例え相手にディスクをあててもコートには戻れない。(首から上でもアウト)
- ⑤ 外野 (最初からコート外にいた3名) は、帽子をかぶる。なお、途中で味方チームが外野に出た場合には、内野に入ること。但し、入る外野の選手は帽子をとること。
- ⑥ 時間内にコート内から選手がいなくなった時点でこのセットは終了とし、2セット先取したチームが勝利を得る。得点はコート内に残った人数に帽子をかぶった外野の人数を加算したものとする。
- ⑦ ディスクを取った者が必ず投げること。ディスクを内・外野を問わず手渡しをした場合にはファウルとし、相手側の外野から再開する。(上級生や上手な人には渡さない)
- ⑧ 相手が投げてきたディスクが身体に当たっても、ディスクが床につく前に取ればセーフとする。なお、2人同時に当たった場合は、2人ともアウトとする。
- ⑨ ディスクを投球・捕球する際において、ラインを踏み又は超えた場合は無効となり、相手側の外野から再開する。また、ディスクがライン上に落ちた場合も相手側のディスクとなる。
- ⑩ 試合開始は両チームの代表者がじゃんけんをして勝った代表者がディスクの所有権を取る。ゲームは審判の合図によって始める。2セット目はコートチェンジをして反対のチームがディスクの所有権を取る。3セット (最終戦) は、再度じゃんけんをして所有権を決める。
- ⑪ 主審がスコア表に結果を記録し提出する。
- ⑫ 投げ方は横投げのバックハンドのみ (たて投げ、横投げのフォアハンドは禁止)。たて投げ、フォアハンドスローをした場合は、ファウルとなり、相手側の外野から再開する
- ⑬ 外野は、バックライン・サイドラインのどちらからも投げるができる。
- ⑭ 審判は、主審1人、副審1人、線審4人の計6人とする。